２０２４年　６月１７日
日本原子力発電株式会社

東海第二発電所　燃料プール冷却浄化系ポンプ（Ｂ）の自動停止について

東海第二発電所※は２０２４年６月１６日２３時２９分頃、燃料プール冷却浄化系ポンプ（以下、「ＦＰＣポンプ」）に係る電源系の警報が中央制御室で発報し、運転中のＦＰＣポンプ（Ｂ）が自動停止しました。
（使用済燃料プール温度：約２５℃）

その後、６月１７日０時３４分に待機中のＦＰＣポンプ（Ａ）を起動しており、使用済燃料プール温度は、約２５℃で安定しています。

本事象による周辺環境への放射能の影響はありません。

今後、当該ポンプが停止した原因を調査してまいります。

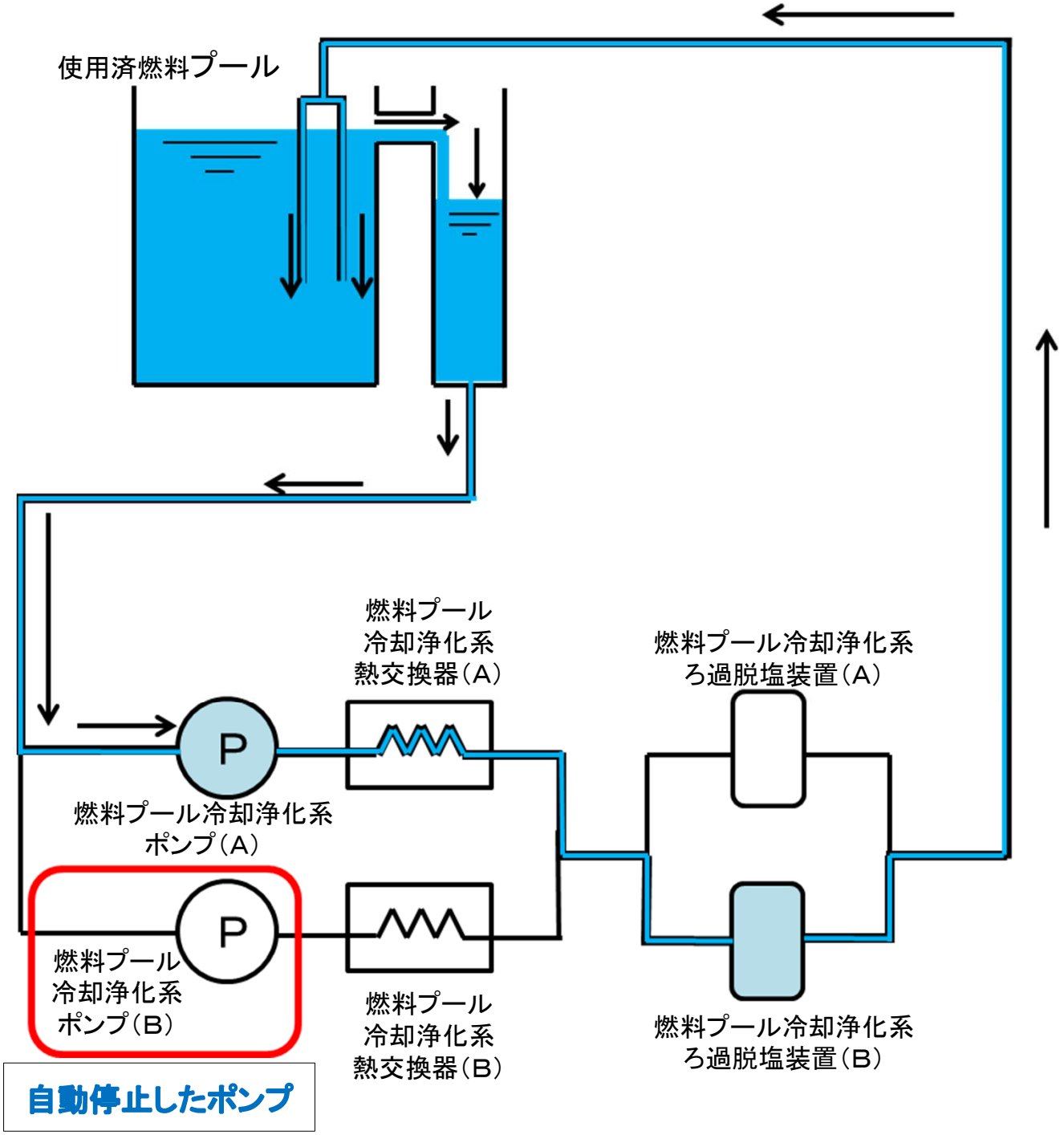
※：沸騰水型軽水炉、定格電気出力１１０万キロワット。第２５回定期事業者検査中。

以　上

参考資料：燃料プール冷却浄化系　系統概略図

このページでは、機器の軽度な故障等で、法令の定めでは国への報告の必要がなく、
トラブルとされていない情報（保全品質情報※）等を掲載しています。

※保全品質情報：国へ報告する必要のない軽微な事象であるが、設備の信頼性を向上させる観点から電力各社はもとより、産官学で情報共有化することが有益な情報です。

参考資料

燃料プール冷却浄化系 系統概略図